

学習フィードバックシート

プロジェクト名： ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」
をハードウェアから開発する - グループ名： GroupC

担当教員名：三上貞芳，高橋信行，鈴木昭二 学籍番号 1018225 氏名 田澤卓也

1. 自己評価

評価項目	自己評価 (点数/満点)	評価基準
出席	10 /10	無断欠席回数： ・ 0回(10点) ・ 1回(5点) ・ 2回(0点)
週報	7 /10	標準点：7点 ・ すべて提出したか？ 不備はないか？ ・ 提出期限は守られているか？ ・ 報告事項の内容は十分か？
グループ報告書	8 /10	標準点：7点 ・ 誤字、脱字はないか？ 様式、体裁は整っているか？ ・ 十分な記述量があるか？ ・ 内容に矛盾がなく、再現性や合理性があるか？ ・ 客観的な記述がされているか？
発表会	8 /10	標準点：7点 ・ ポスターはわかりやすいか？ ・ 聴講者に理解してもらえたか？ ・ 説明方法は適切であったか？
外部評価	8 /10	標準点：7点 ・ 発表会やアンケートを通じた外部からの意見の評価 ・ 検討を十分行ったか？ ・ 外部意見を課題解決策に反映することができたか？ ・ 自分勝手な課題解決策になっていないか？
積極性・協調性	8 /10	標準点：7点 ・ 自ら積極的に課題を設定したか？ ・ 自ら積極的に課題の解決策を考案したか？ ・ 自ら積極的に課題を解決したか？ ・ 課題設定・解決のために議論を十分行ったか？ ・ メンバーとお互いに協力し合ったか？
計画性	16 /20	標準14点 ・ 適切な作業計画を立てることができたか？ ・ 適切な作業分担を行えたか？ ・ 計画通りに作業を進めることができたか？ ・ 必要に応じて柔軟に計画を修正できたか？
成果	14 /20	標準14点 ・ プロジェクト遂行に必要な知識・技術を獲得できたか ・ プロジェクトへの貢献は十分であったか 自分たちが納得できる成果が得られたか？
合計点	79 /100	

(注)週報の不備を，システム情報科学実習のホームページ→週報の提出確認のページから確認すること。

2.理由

プロジェクト学習にすべて出席をした。夏季休暇中に個人とグループでの活動時間をつくるができなかったため、後期に入り改めてグループのコンセプトに基づいて開発を行うロボットについて話し合いを設け作業の具体化とスケジュール化を行った。その中で私は、前期からの活動の流れを踏まえ、メンバーが効率よく作業に取り組みお互いに連携が取れるように行う作業を言葉にして課題を共有しコミュニケーションを取ることができた。成果発表では、グループおよびプロジェクト全体で相談をして、オンラインによる発表でも効果的に成果物を示すことができたと考える。また成果発表までの進捗と設定した課題をよく確認し、成果発表に対する評価も踏まえてよく検討をし、発表技術・成果物に対してグループで評価を行うことができた。週報はすべて提出し内容も十分であるが、作業の後に回し、遅れてまとめて書くことが何回かあった。計画性については、グループで、作業の具体化を行ったため前期より進捗が多くなったが、成果物の実用性の面で、コミュニケーションを行う部分を実証実験など、外部からフィードバックをもらえるまで進捗を生みなかった。

3. 共同作業者によるコメント

コメンター氏名：小山内 駿輔

行った作業をわかりやすくまとめてもらったため、作業の進捗やこれから取り組むべきことが一発で分かり、非常に円滑に作業を進めることが出来た上に仕様書や予定表などを作りこんでくれたため、何を目指すべきかが見えやすく、作業の質が高まりました。また、モーターの細かな制御や電源や起動の設定などロボットの質を高めるために大きく尽力してくれました。

サイン 小山内 駿輔

コメンター氏名： 普久原 朝基

グループ C は明確にグループリーダーを決めていませんでしたが、実質的に田澤君がその役割を担ってくれていました。プロジェクトでのミーティングの時もグループ C の意見をまとめた確に表現していたので素晴らしいと思いました。また、ロボット製作でも電気回路関係で役立ってくれました。感謝しています。

サイン 普久原 朝基

3. 担当教員によるコメント

教員サイン 三上貞芳

教員サイン 高橋信行

教員サイン 鈴木昭二